

【専門分野】

科目名	老年看護技術論	講師名	専任教員 (13) 岡山医療センター看護師 (2)	学	2	履修期	第1学期				
単位	1単位			年							
時間数	15時間										
講師実務経験	専任教員：看護師としての臨床経験あり。										
授業概要	健康障害をもつ高齢者の日常生活の確立に向けて、高齢者の特徴をふまえた高齢者の看護技術について学ぶ。										
授業科目目標	1. 老年期にある対象の看護技術の特徴について理解できる。 2. 老年期にある対象の食事摂取援助および清潔援助について理解できる。 3. 老年期にある対象の皮膚の特徴と褥瘡およびスキンケアについて理解できる。 4. 老年期にある対象の看護における倫理的問題が理解できる。										
授業計画	1回：高齢者への看護技術の特徴 1) 高齢者の自立とセルフケアへの支援 2) 高齢者のQOLへの支援 3) 安全性・安楽性・効率性への支援 2回：嚥下障害時の看護技術 1) 嚥下補助食品 2) 嚥下訓練 3回：口腔ケア・義歯の取扱い 4回：経管栄養法（経鼻胃チューブ挿入・管理） 5回：褥瘡の予防とスキンケアの基本 6回：認知機能障害のある高齢者への看護技術 1) コミュニケーションの特徴 2) ユマニチュード、パーソンセンタードケアの考え方 3) 症状（中核症状、行動・心理症状）に対する看護 7回：老年看護における倫理的問題 1) 身体拘束 8回：終了試験					講義	演習	演習	演習	演習	グループワーク
評価方法	筆記試験										
テキスト	1. 系統看護学講座 専門分野 老年看護学, 医学書院. 2. 泉キヨ子・天津栄子：根拠がわかる老年看護技術, メヂカルフレンド社.										
参考書	1. 奥野茂代他：老年看護技術 -アセスメントのポイントとその根拠-, ヌーヴェルヒロカワ.										
学生へのメッセージ	既習の各看護学や基礎看護技術を想起しながら、予備力、適応力の低下した高齢者に対する看護技術について考える機会となる授業です。基礎看護技術でおさえた経管栄養や、臨床で実施する機会が多い看護技術などを校内実習するので積極的に臨んで下さい。 【関連科目】 解剖生理学Ⅲ、共通基本技術Ⅱ、生活援助技術Ⅲ、老年看護学概論、老年看護援助論Ⅰ・Ⅱ										